

製品名: ICAM-1 (リン酸化Tyr512) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab04812**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	57kDa

抗原情報

遺伝子名	ICAM1
別名	ICAM1; Intercellular adhesion molecule 1; ICAM-1; Major group rhinovirus receptor; CD antigen CD54
遺伝子 ID	3383.0
SwissProt ID	P05362
免疫原	抗血清は、ヒト ICAM-1 の Tyr512 のリン酸化部位付近の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 479-528

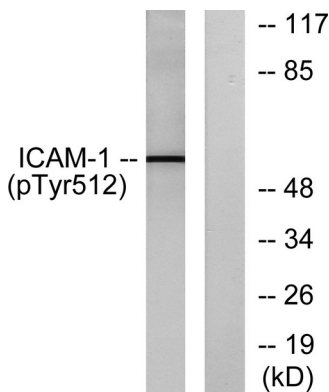
背景

この遺伝子は、典型的には内皮細胞および免疫系細胞に発現する細胞表面糖タンパク質をコードしています。CD11a/CD18 型または CD11b/CD18 型のインテグリンに結合し、ライノウイルスの受容体としても利用されます。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能：ICAM タンパク質は、白血球接着タンパク質 LFA-1 (インテグリン α -L/ β -2) のリガンドです。白血球の内皮透過において、ICAM1 の関与は、SGEF および RHOG の活性化を介して内皮頂カップの形成を促進します。ライノウイルス感染の場合、ウイルスの細胞受容体として機能します。、オンライン情報:ICAM-1,オンライン情報:正二十面体カプシド構造,オンライン情報:細胞間接着分子の侵入,多型:ICAM1-Kalifi Met-56 を持つホモ接合体は、脳マラリアのリスクが高いようです。、PTM:モノユビキチン化され、MARCH9 によって促進され、エンドサイトーシスを引き起こします。、類似性:免疫グロブリンスーパーファミリーに属します。ICAM ファミリー。、類似性:5 つの Ig 様 C2 型 (免疫グロブリン様) ドメインを含みます。、サブユニット:ホモダイマー (おそらく)。ヒトヘルペスウイルス 8 型の MIR2 タンパク質 (おそらく) と相互作用します。MUC1 と相互作用し、上皮細胞での細胞凝集を促進します。SGEF と相互作用します。コクサッキーウイルス A21 のカプシドタンパク質に結合し、このウイルスの受容体として機能します。

研究分野

細胞接着分子 (CAM)、ナチュラルキラー細胞を介した細胞傷害、白血球の内皮透過性遊走、ウイルス性心筋炎

画像データ



TNF- α 20 ng/ml 5 'で処理した HeLa 細胞ライセートの ICAM-1 (リン酸化 Tyr512) 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。



リン酸化 ICAM-1 (Y512) ポリクローナル抗体を 1: 500 に希釈して、様々な細胞をウェスタンブロット解析した。